



日常生活のイラストからエコ生活のポイントを学ぶ児童

地球温暖化を防ぐためにできることは

■アース・キッズチャレンジ キックオフイベント

細江小学校体育館で7月7日、県地球温暖化防止活動推進センターが実施する「アース・キッズチャレンジ」のキックオフイベントが開催され、4年生67人が参加しました。

児童はまず、同センター職員による「温暖化ミニ講座」を受け、地球温暖化の現状や仕組みなどを学びました。その後、グループに分かれ、「キッズ発電所」「ごみ分別ゲーム」「エコ生活大作戦」の3つの体験コーナーを順番に回り、環境を良くする取り組みに対する意識を高めました。

待ちに待った海開き!

■海水浴場海開き

7月15日にさがらサンビーチ、静波海水浴場で海開きが行われ、両海水浴場でシーズン中の安全を祈願する神事が行われました。

さがらサンビーチでは、水難者供養祭と安全祈願神事が行われた後、相良ライフセービングクラブのメンバーによる「救助活動デモンストレーション」を実施。ビーチに集まった関係者らに対し、チームワークと迅速な対応を披露しました。

両海水浴場での遊泳期間は、8月31日(木)までの予定です。



相良ライフセービングクラブによるデモンストレーション

一番茶品評会場でお茶について学ぶ

■第17回一番茶品評会・お茶教室

7月6日、相良総合センターい〜らで、市認定農業者協議会の一番茶品評会が開催されました。

市内会員の茶工場から63点の一番茶が出品され、外観や水色、香気、滋味の4項目について審査されました。最優秀賞には、高塚勝之さん(菅山支部)のお茶が選ばれました。

品評会后、市内の小学生たちにも牧之原茶に親しみを持ってもらおうと、お茶教室も開催。招待された345人の児童たちは、審査会場の見学やお茶クイズなどで、お茶について学びました。



出品されたお茶の香りや手触り確かめる児童



講師の助言を参考に花を挿す児童

県産の色鮮やかな花が教室を彩る

■フラワーアレンジメント教室

地頭方小学校で7月6日、フラワーアレンジメント教室が開催され、6年生28人が参加しました。

この教室は、県の「花いっぱい推進運動」の一環で行われたものです。児童は、講師の良知園芸(吉田町)の皆さんから助言を受けながら、県内で生産されたバラやトルコキキョウ、ガーベラなどのさまざまな花を切り、土台に挿していきました。児童は「静岡ではたくさんのお花が育てられているのが良かった」「花同士を組み合わせを考えるのが楽しかった」と感想を話しました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



マリンスポーツって楽しいね!

■マリンスポーツ体験会

「静波サーフスタジアム」の開業などにより、市内ではサーフィンなどのマリンスポーツへの関心が高まっています。市では7月、本格的なマリンスポーツの時期を前に、地元のサーファーやマリンスポーツ関係者に協力いただき、市内3つの小学校で「マリンスポーツ体験会」を開催しました。

7日には、牧之原小学校6年生31人を対象に「サーフィン体験」を開催しました。児童は、サーフボードにうつ伏せで乗り、パドル(手でこぐ動作)やボード上に立ち上がる練習を行いながら、25メートルプールを4往復しました。

11日には、地頭方小学校プールで、5年生34人を対象に「SUP(*)体験」を開催しました。児童は、まずパドルの持ち方やこぎ方、バランスの取り方などを講師から教わった後、実際にプールでボードに立って練習しました。また、13日には地頭方海浜公園で、海でのSUPも体験しました。

20日には、勝間田小学校で「プロサーファーのお話会&サーフィン体験」を開催し、5・6年生53人が参加しました。前半は、地元で活躍するプロサーファー三輪紘也さん(吉田町出身)、佐藤李さん(御前崎市出身)の2人から、これまでの経験や今後の目標などについての講話を聞きました。後半は、プールで2人から直接指導を受けながら、サーフィンの体験をしました。



勝間田小学校「プロサーファーのお話会&サーフィン体験」



* SUPとは、「Stand Up Paddleboard (スタンドアップパドルボード)」の頭文字を取った略称。ボードの上に立ち、パドル(オール)をこいで水面を進む、近年人気のアクティビティ。



地頭方小学校「SUP体験」

牧之原小学校「サーフィン体験」